

区分	☒ 新規 ☐ 再提案（ ・ ・ 第 回総会； 市）						
種類	☒ 現行制度の改善又は拡充を求めるもの ☐ 新たな施策の要望又は提案を求めるもの ☐ 特に市町村への財政支援策等を求めるもの ☐ その他（ ）				分野	☒ 総務文教 ☐ 社会環境 ☐ 経済 ☐ 危機管理建設	
要望先	☐ 国	担当省庁					
	☒ 県	担当部局		企画振興部			
	☐ その他	名称					
件名	2 公共交通機関におけるキャッシュレス化推進事業の拡充について						
提案市	長野市、須坂市						
提案要旨	県で実施している、県内公共交通機関におけるキャッシュレス決済を促進するための「公共交通機関におけるキャッシュレス化推進事業」について、対象が乗合バス事業者（高速・特急バス路線を運行する者に限る）、支援内容がQRコード決済やクレジットカード非接触決済導入経費等であり、全国で利用できる交通系ICカードの経費は対象外となっているため、対象及び支援の拡充を要望する。						
提案理由	県公共交通活性化協議会でもMaaSの基盤づくりに向けた取組の方向性として「県内全域で、誰もが交通モードにかかわらずシームレスに公共交通機関を利用できる決済環境」を掲げており、県民に身近な路線バスや地方鉄道へキャッシュレス決済を広げることの必要性は認識されているものの、現状では必ずしも進んでいるとはいえない。 キャッシュレス決済の導入には、多額の経費負担が障害となっていることから、路線バスや地方鉄道へのキャッシュレス決済導入に対する支援の拡大を要望するもの。						
現況及び課題等	長野市では、平成24年にバス共通ICカード「KURURU」を路線バスに導入した。また、須坂市では、平成27年に「KURURU」を路線バスに導入し、以後、両市とも長野市公共交通活性化・再生協議会の枠組みの中で、利用拡大を図ってきた。 導入から10年が経過し、更なる利便性の向上によるキャッシュレス推進に向け、令和7年春を目途に、交通系ICカードも含めキャッシュレス決済の在り方の検討を再生協議会において進めている。 キャッシュレス決済の構築には、バス車載器の交換など多額の経費が見込まれるため、支援が必要であり、特にコロナ禍で厳しい経営環境にある事業者への支援は必須である。 国では、交通系ICカードも含めた多様なキャッシュレス決済への補助があることから、県にも国に準じた支援を要望する。						
関係法令							